

阿佐谷七夕まつり流 ハリボテの作り方

令和8年
プチハリボテ編



やつた いじふ

阿佐谷パールセンター商店街組合理事

この楽しいイベントに一般参加も
できるんですよ。プチハリボテと
言って、全長1メートルサイズの
ハリボテを
自作すれば
吊り上げて
もらえます。

↑
1m
↓



70年以上やってるんですね。
始まりが昭和29年だから、もう



「阿佐谷七夕まつり」ってご存じです
か？パールセンター商店街が主催す
るイベントで、個性的なハリボテが
たくさん吊り上げられる楽しい
お祭りです。毎年8月上旬に開催
されています。

申し込みには完成予想図を添えなければいけないので、テーマを考えます。



テーマはなんでもいいんです。ヒーロー、ヒロイン、ギャグキャラ、スーパーメカみたいな架空の存在から動物や乗り物みたいな実在のものまで、なんでもオッケー



とわ言え、せつかく作るんだから来た人にア！って言わせたいよね。



そこで私はひらめいた！



プリンスエドワード島の大好きな大好きな物語

赤毛のアン



アン、今年はあなたを作るわ

まあ私を？それは光栄ね



で、人物をハリボテにするにはどうするか・・・こんなリアル系ハリボテも見たことあるけど

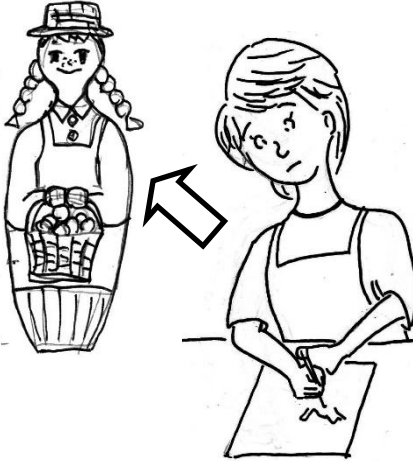


これは
チヨット
大変

ということでロシア民芸の木工人形
マトリョーシカに寄せてデザイン
してみましよう。



完成イメージをざっくりとイラスト
にします。



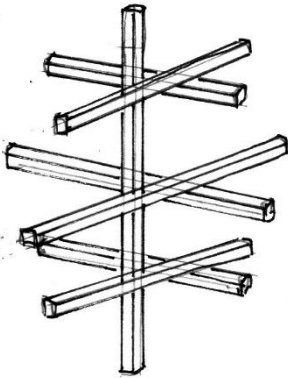
リンゴのバスケットを持たせました

ここまで出来たら申込書を提出
します。デザインが固まったら
早めにね！

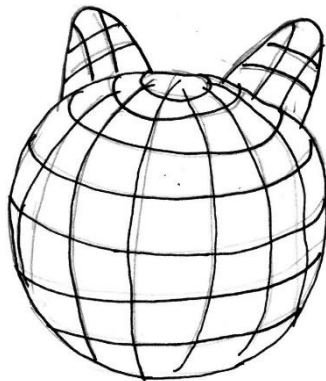


ここで阿佐谷のハリボテが
どんなものなのか解説します。

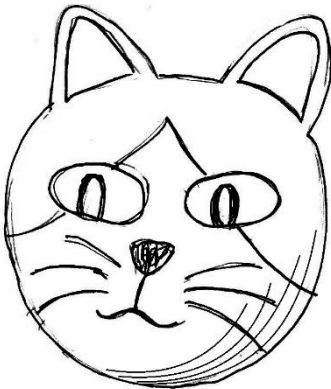
材木を組んで全体の支えとなる
木組みを作つて



木組みに針金を巻いて



紙を貼つて色を塗つたら完成。

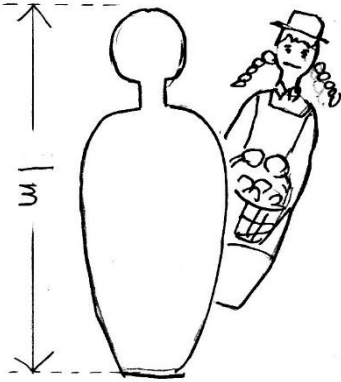


おおまかな流れを知ってもらった
ところで設計を始めます。
設計は方眼紙を使います。



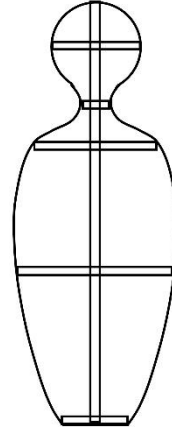
さつきのイラストの外形を
方眼紙に製図します。

高さが1メートルだから五分の一
ぐらいかな。

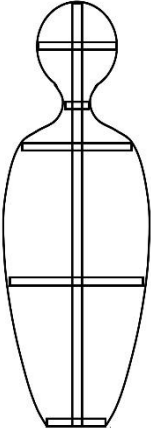


外形を描いたら、骨格になる材木を
書き込みます。中心に芯となる
1メートルの材木を書いてから、
横向きの材木を加えます。

このハリボテなら、頭と首に。
あと肩とお腹と底にあれば
いいかな。



正面から見た図は作ったので、
横から見た図も作ります。
マトリョーシカ形なので正面と
同じでもいいけど、人物像っぽさを
出したかったので、正面よりもやや
薄くしました。



正面図と側面図が出来たら、
切り出す材木のサイズを確定
します。これで設計は完了です。

芯材=100cm

正面上から		横面上から
22cm	頭	20cm
7cm	首	7cm
30cm	胴1	26cm
38cm	胴2	32cm
17cm	胴3	15cm

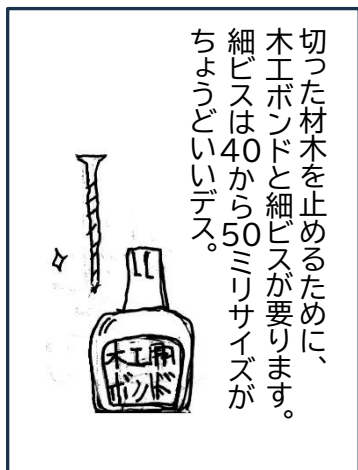
芯となる木材、芯材には吊り上げ
するための輪が付きます。

吊り輪↓

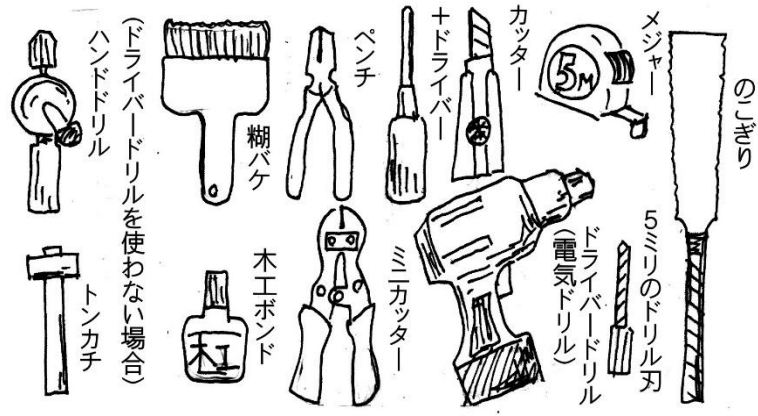
吊り輪の
作り方は後で
説明しますね。



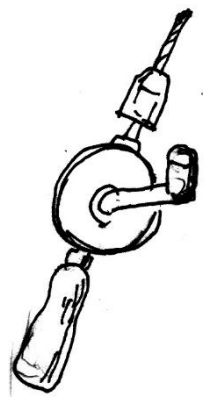
必要な材料(木材・針金・布テープ・紙・のり・はけ)は「キット」としてパッケージしていますので、参加申し込みの際に1000円で購入していただきます。



ハリボテ作りに使う工具を確認
 します。お家の工具箱を調べて
 みてね。



ドライバードリルが無い場合は
 手回しのドリルでも、頑張れば
 できないこともないです。



ただし、後で詳しくお話しますが、
 ハリボテ一体を作るのに、穴を
 40から50箇所も開ける必要が
 あります。

という訳で、どうしても、とはい
 ませんが、ドライバードリルの
 ご用意をお勧めします。



最後にペイント。
 これは何でも良いのですが、
 私が愛用しているのは
 コレ



ターナーのイベントカラーです。
 色の種類が多くて、発色が奇麗で
 薄めずにそのまま塗れる便利な
 ペイントです。

ご近所で手に入らないようなら
 ネットを活用してください。



材料が揃ったので作り始めましょう。
まずは材木の切り分けから。
メジャーで測って印をつけます。



切り分ける本数が多くて
サイズもまちまちなので、
このように印をつけると便利。
線までが100センチです。

印を描き終わったらノコギリで
切り分けます。ケガしないように
注意してね。ケガ予防に軍手をはめるのもいいですよ。



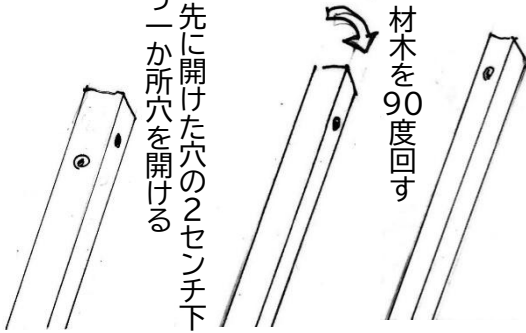
切り分けが終わったら穴あけです。
全ての端を加工します。



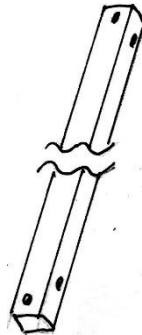
① 端から2センチの所にドリルで
穴を開ける

② 材木を90度回す

③ 先に開けた穴の2センチ下に
もう一か所穴を開ける



開けた穴は材木と針金を繋ぎ
合わせる「接合部」になります。



さて、「ここ」で「吊り輪作り」の解説を
します。ハリボテ作りの中で最も
大切な工程なので必ずご理解くだ
さい。

注目!



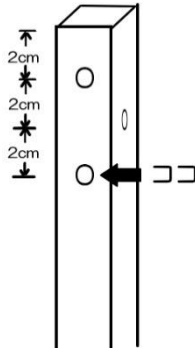
ハリボテは大混雑な往來の上に
飾るので絶対に落ちてこない
ようにしなければいけません。



パールセンターのプチハリボテイベントに参加した場合は、キットの木材の一本に、予め吊り輪が装着されているので、それを芯材としてください。

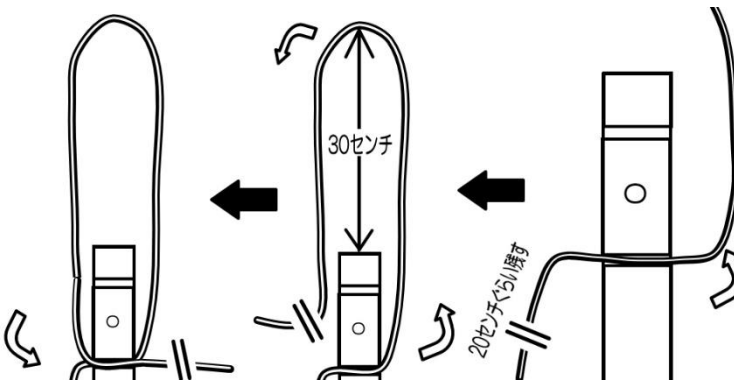
以下は、握力に自信が無い方でも作りやすい、吊り輪の作り方の紹介になります。完全に自作する場合は参考にしてください。

端には既に2か所の穴が開いていますが、更に2センチ下にもう一か所穴を開けます。向きはどちらでもよいです。



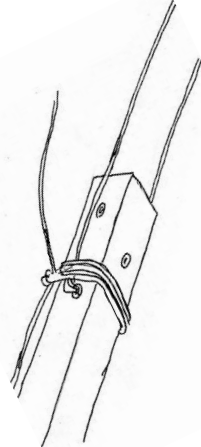
針金を1メートル50センチに切ってください。必要量より長めですが、この方がやり易いのです。

一番下の穴に針金を通します。



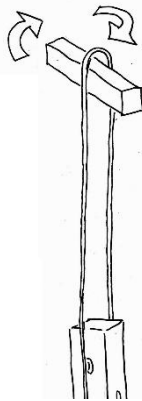
高さ30センチぐらいの輪を作って、同じ穴に反対側から通します。

余った針金をグルグルと材木に巻き付けて。余った分を切断して整えます。



針金を長めにとったのは、この巻き付け作業がやり易くなるからです。

輪の先に材木の切れ端を入れます。



クルクル回せば吊り輪の完成です。



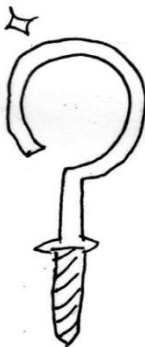
高さ30センチ取ったのは
ヒモを結びやすくするため、



結び目が結構目立つから、
ハリボテ本体から少し
離したいのです。

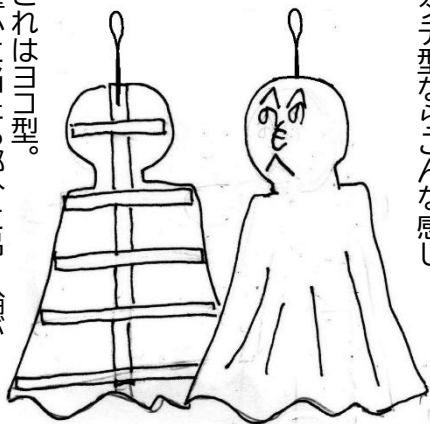
なお、ヒートンやネジ金具は
絶対に使わないでください。
ネジは縦方向の荷重に弱い
ので抜けてしまいます。

使用禁止!

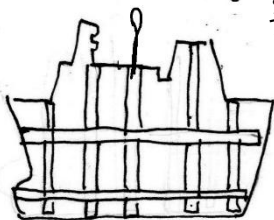
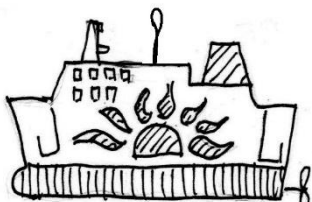


大事なのは、吊り輪のついた
材木がハリボテ全体を
貫いていること。

タテ型ならこんな感じ

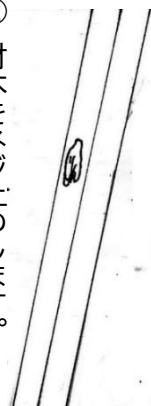


これはヨコ型。
重心に当たる部分に吊り輪が
来るようにしましょう。

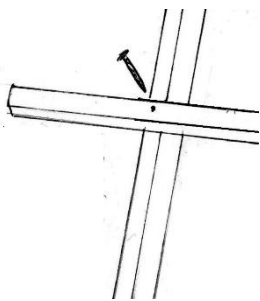


穴開けが終わったら材木を組
みます。設計図を確認しなが
ら作業を勧めてください。

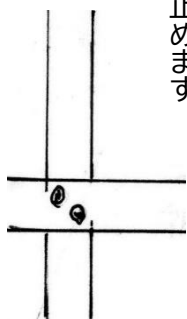
① 材木を組み合わせる箇所に
木工ボンドを塗ります。



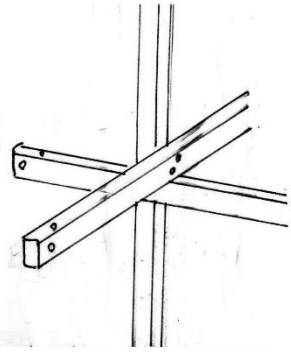
② 材木をネジ止めします。
トンカチを使うなら釘止めですね。



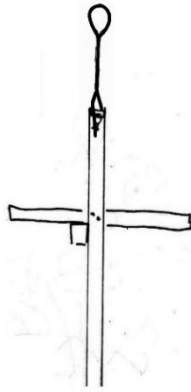
③ グラグラしないように、
2か所止めます。



もう一本、直角に交わる材木を
同じ要領で取り付けます。



ドライバードリルでは締めき
れないようなら、十字ドライ
バーでしっかりネジ止めして
ね。

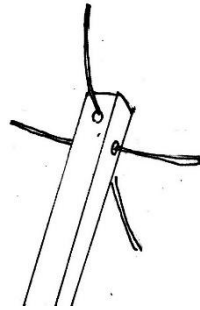


「これだと後から付けた材木は
本来の位置からズレてない？」
と思うかもしれませんが、この
後の針金を取り付ける作業で調
整するので、これで大丈夫です。

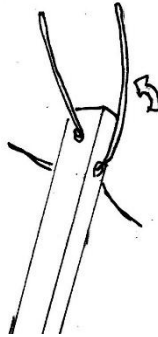
材木を組み終わったら、材木と
針金を繋ぎ合わせる「接合部」を
作ります。

先ず30センチに切った針金を穴の
数だけ用意してください。

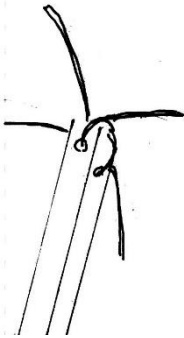
① 二本の針金を穴に通します。
針金が材木を交差する感じ です。



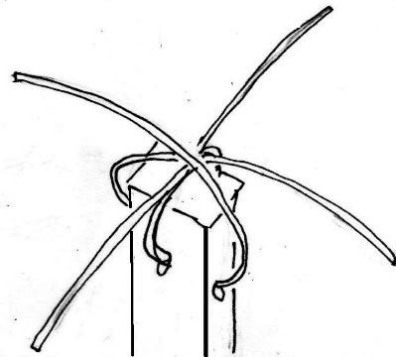
② 通した針金を折り曲げます。



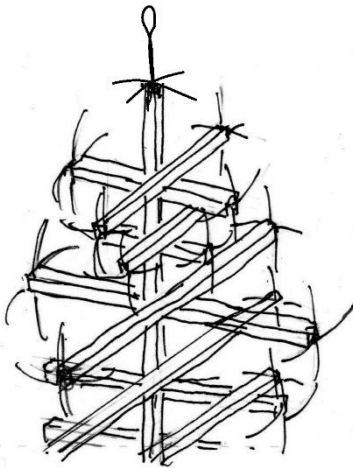
③ 二本とも折り曲げて完成です。



上から見るとこんな感じ

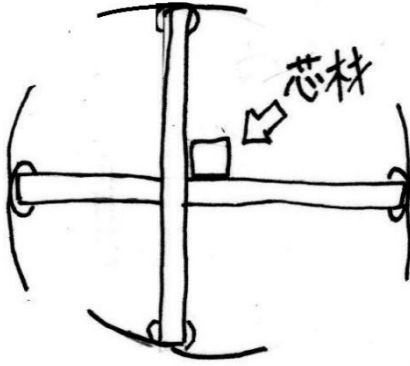


材木の全ての端に、この加工を施します。



「接合部」ができたなら、針金を巻いていきます。
基本的には先に横向きを巻いて、後から縦向きを巻いていくのがやり易いですよ。

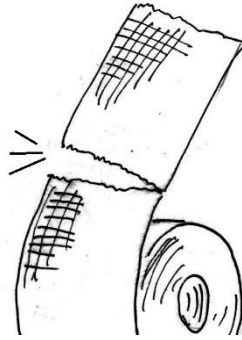
さつき針金を取り付けた木枠を上から見たところこんな感じですね。



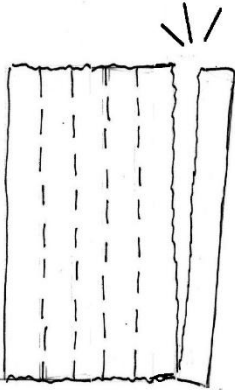
材木の端に針金が出てくるけど、針金と針金を、長い針金で繋いで行くイメージで作業します。

針金と針金を繋ぐのはガムテープを使います。
安物のガムテープは接着力が弱いので、中重梱包用を用意してください。

① ガムテープを10センチぐらいで切ります。



② 切ったガムテープを縦に裂いて6分割する。

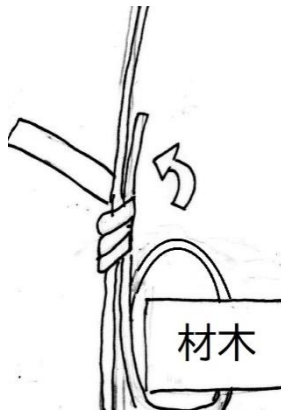


③ 適当な長さに切った針金を接合部にあてがいます。

上から見た図



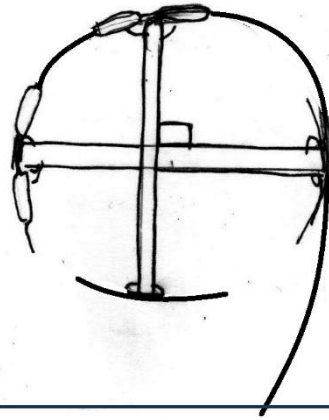
④ 裂いたガムテープを巻きつける



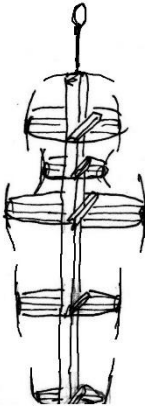
⑤ 端まで完全に巻いて止める。



⑥ 順番に止めながら、
芯材の都合で歪んだ部分を
修正します。



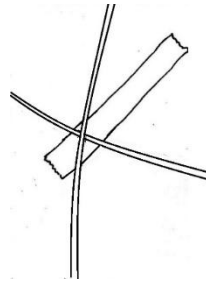
⑦ ぐるっと一周巻いて止めて、
余った針金をペンチで切り落とす。



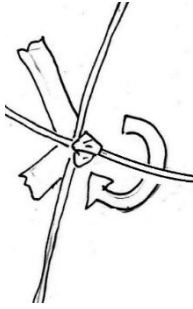
作業を進めると、だいたい
こんな感じになります。

次は縦方向。
縦も横と同じ要領なんだけど、針金
を縦横で十字に組むので、その止め
方を説明をします。

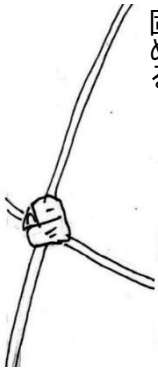
① 図のようにガムテープを添える



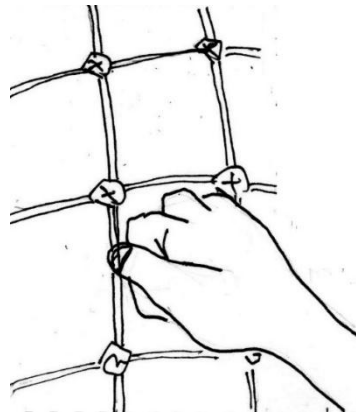
② たすき掛けに巻いていく



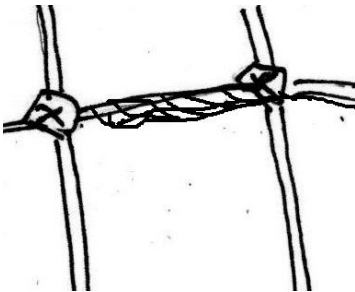
③ 巻き終わったらしっかりと
固める



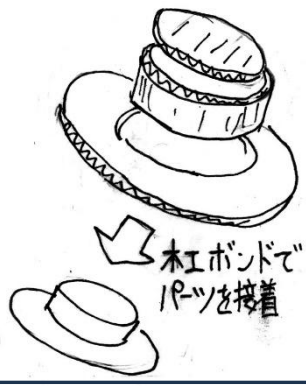
針金の隙間がゲンコツと
同じぐらいになれば完成です。



最後に、針金の先端がそのまま
だと危ないので、テープを巻い
て養生してください。

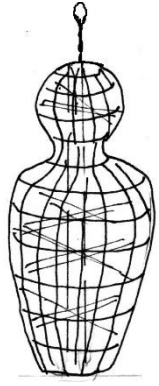


帽子は段ボールで作ります。
ちよつど空き箱があつたので、
これを活用しました。



出来た帽子は後で本体
に取り付けます

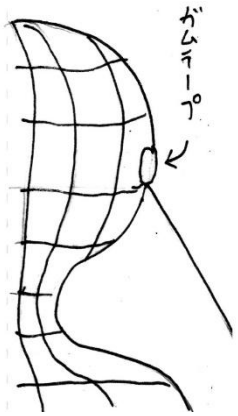
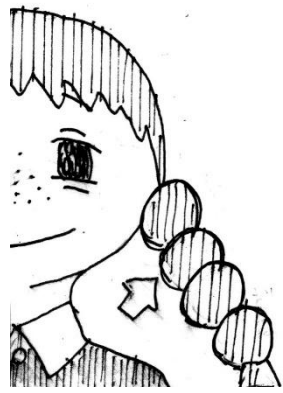
コツコツと作業をすすめると、
こんな感じになりました。



続いておさげが身を作ります。

ハリボテつて、デザインによるけど羽
とか耳とかアンテナみたいにな、本体か
ら出つ張るものがある場合、取れて
しまわないように気を付けないとい
けません。

今回はおさげ髪なので、芯になる部
分を針金で作つて、本体にガムテープ
で止めます。

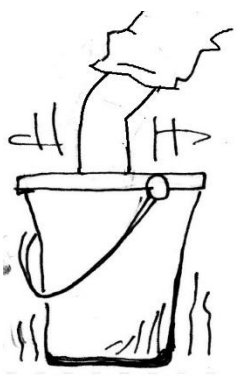


針金はこれで完成。
続いて紙を貼りをしますので、
バケツを用意して糊(ノリ)を
作ります。

① アミノールを入れます。

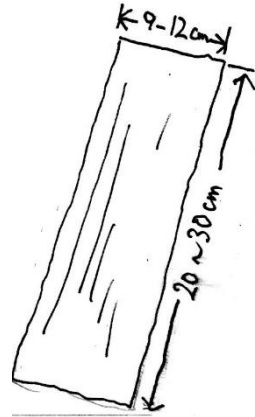


② 水を少しづつ加えて伸ばします。
ちよつと気持ち悪いけど手を突っ
込んで揉むように混ぜると、
比較的早く溶けます。

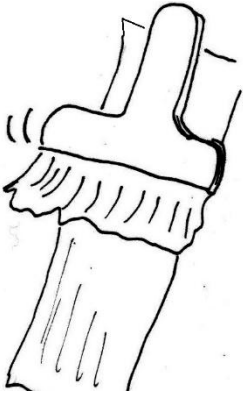


③ 中華丼の館ぐらいのトロミに
なったら完成です。

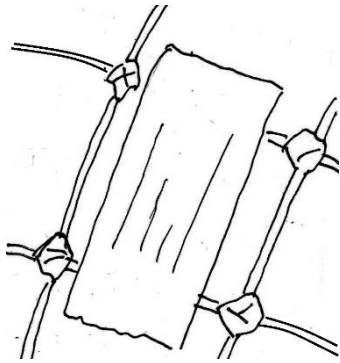
ノリが出来たら紙ですね。
茶チリ紙を定規や刃物で
長方形に切り分けます。



紙にノリを塗って貼っていきます。
茶チリ紙はツルツルした面と
ザラザラした面があるので、
ザラザラした面に塗りましょう。

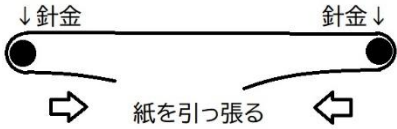


端から端まで、しっかりとノリを
塗ったら、二本の針金に渡すよ
うに置きます。

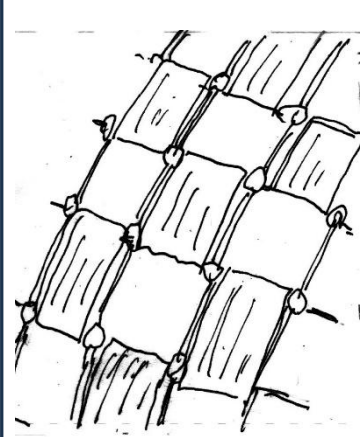


二本の針金に渡した
紙の両端を、引っ張る
ようにテンションをか
けてピンと緊張さ
せながら貼ります。

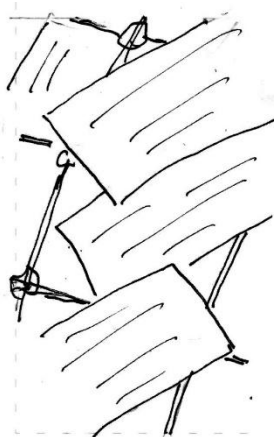
断面を見るとこんな
感じですよ。



同じ要領で紙を貼っていきます。
市松模様みたいになります。



市松模様が出来たら、貼った紙の
隙間を塞ぐように貼り重ねて、
全体に紙を貼っていきます。



帽子を木工ボンドで接着してから
茶チリ紙を貼っていきます。

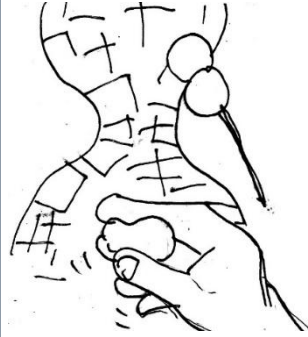


全体に貼り終わるとこんな感じ。
細かいところは紙を小さく
切って貼ってね。

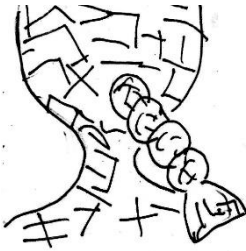
続いておさげ髪。
芯に軽量紙粘土を使います。



軽量紙粘土を適当なサイズに
取ってお団子にして、針金に
くっつけていきます。



それっぽい形になったら、
茶チリ紙を小さく切って
貼っていきます。



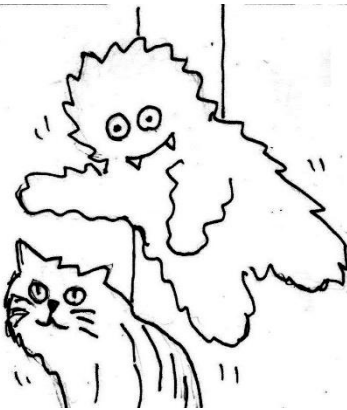
粘土が乾くと外れやすくなるので
面倒でもちゃんと貼りましょう。

さあ、最後の色塗り！

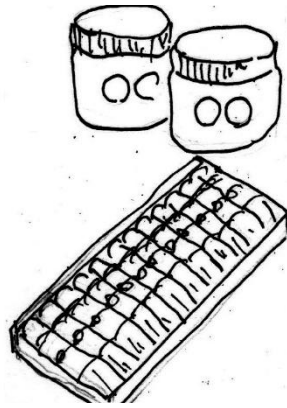
これはホント好きないように
やっていい工程なの。

ペイントを塗るならターナー
のイベントカラーがお勧めだ
けど、布地やカツティング
シートを貼って質感を演出し
たり、トップ生地を使って毛
むくじやらしたり、工夫は
イロイロ。

もしも動物を作るなら生地の
専門店に行つて、あれこれ見
比べてもいいかも。



今回はイベントカラーと
アクリルガッシュユゼットを
使います



まずはベースとなる色を塗ります。
今回は服、肌、髪の毛、帽子を塗り
分けました

混ぜたペイントの
保管は密封できる
カップが便利です。
百均にあります



細かい部分を描き込んで
いきましよう



紹介ボードの付け方例

① ハリボテの底面に、針金を渡すように
穴を2か所あける



② ひもを通す



③ ひもに紹介ボードを付ける

完成したら底面に
紹介ボードを付けてから
パールセンターの人に
上げてもらいます

よかつたら皆さんもチャレンジ
してみてくださいね。

